

令和4年9月13日
東京都医師会定例記者会見

**COVID-19
第7波の振り返り
—介護老人保健施設の視点から—**

東京都医師会（自宅療養・高齢者施設担当）

副会長 平川 博之

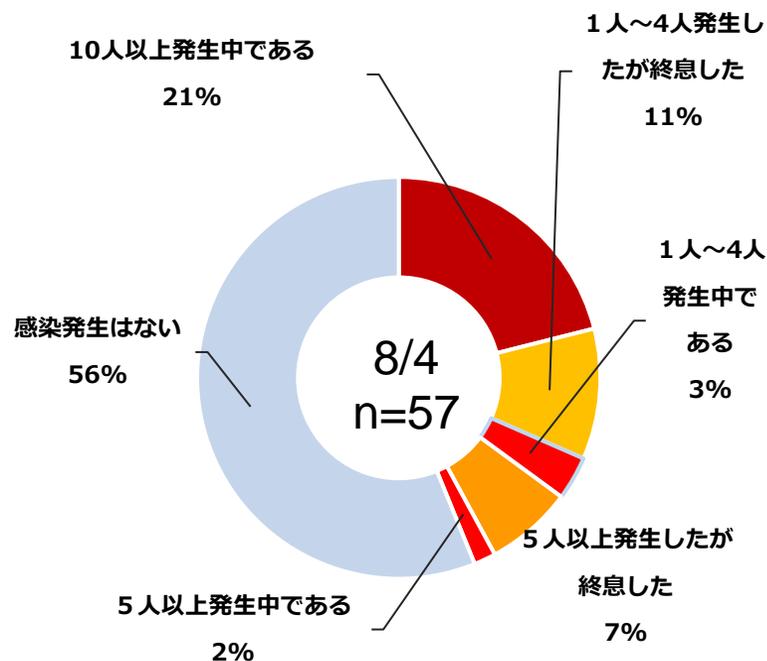
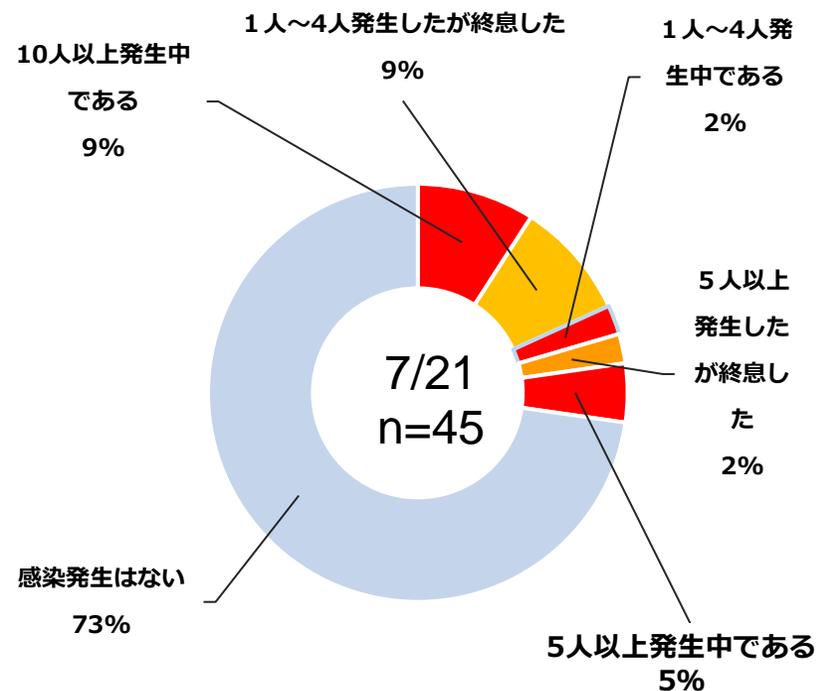
理事 西田 伸一

理事 土谷 明男

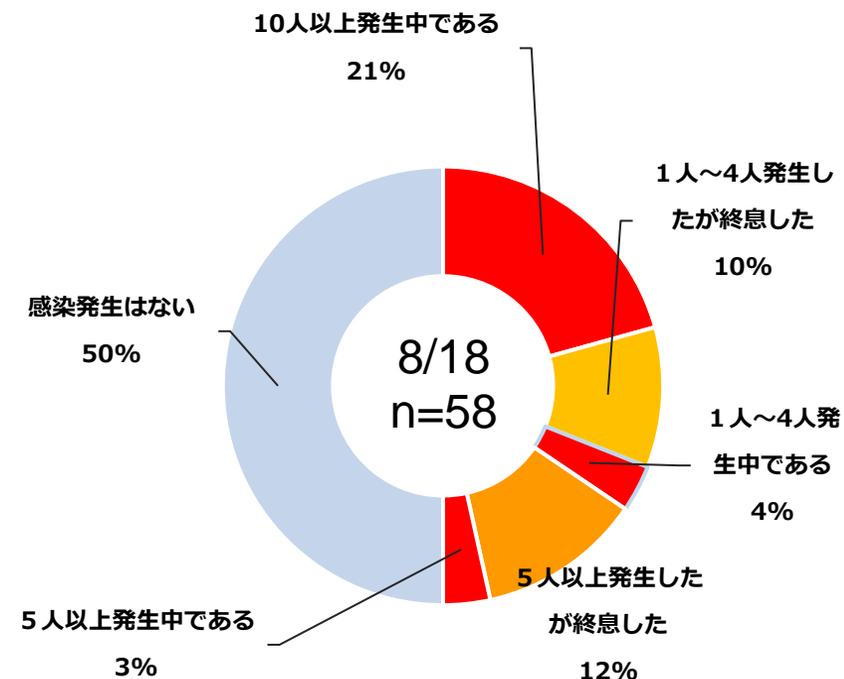
理事 佐々木 聡

第7波下の都内老人保健施設の感染状況（入所者）

2022年6月ー8月4日間



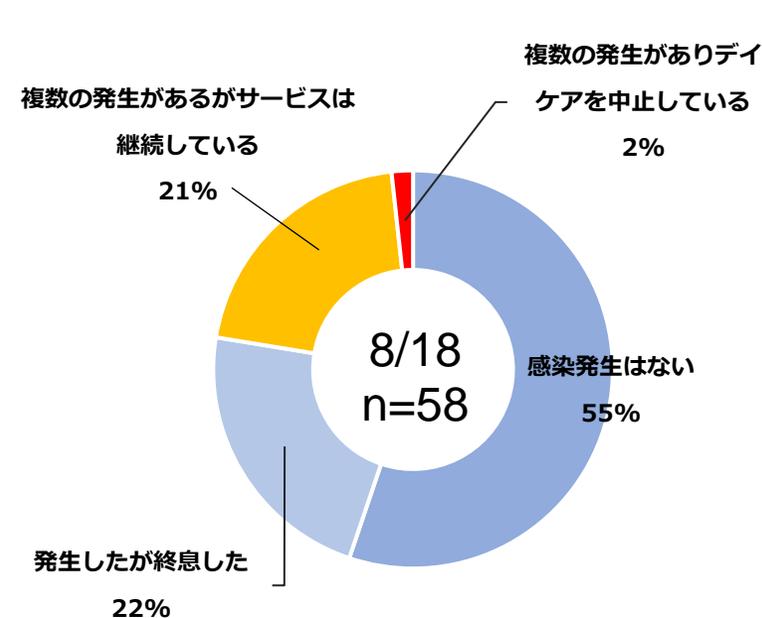
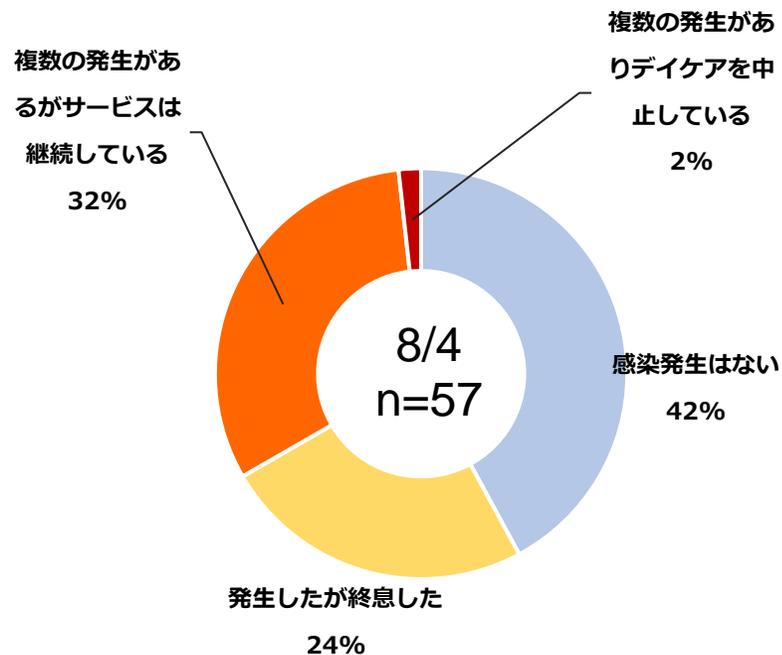
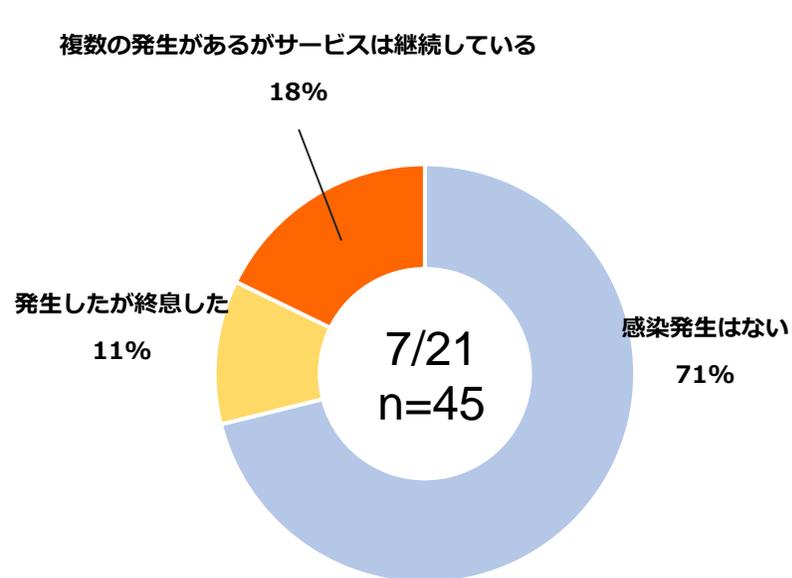
2022年8月1日ー8月18日間



第7波下の都内老人保健施設の感染状況（デイケア利用者）

2022年6月－8月4日間

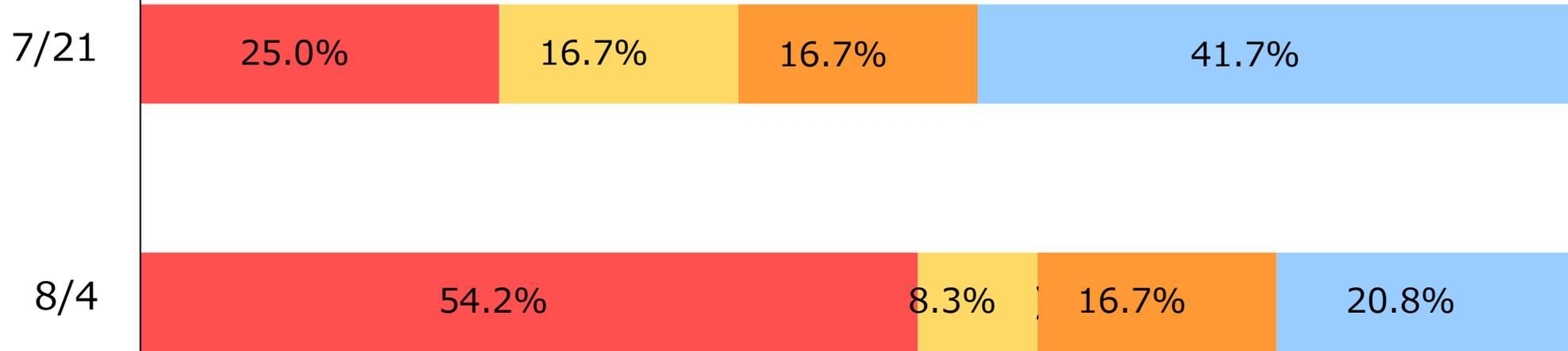
2022年8月1日－8月18日間



都内老人保健施設で感染した入所者の処遇

※感染発生終息、感染発生中のいずれの場合も含む

2022年6月－8月4日間の陽性者



2022年8月1日－8月18日間の陽性者



0% 20% 40% 60% 80% 100%

- ほとんど施設内療養で一部転院
- ほとんど転院したが一部施設療養
- 全員が転院した
- 全員施設内療養

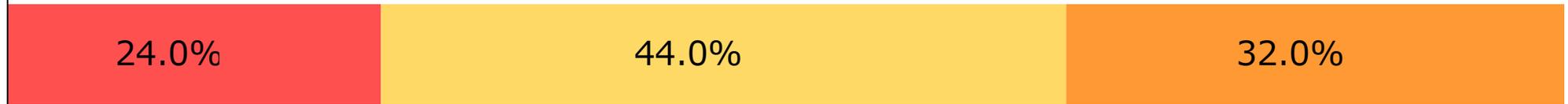
都内老人保健施設で感染した入所者の重症度

※重症の目安：呼吸不全あり(酸素投入)または、施設での治療困難な場合

2022年6月－8月4日間の感染した入所者の重症度



8/4



2022年8月1日－8月18日間の感染した入所者の重症度

8/18



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

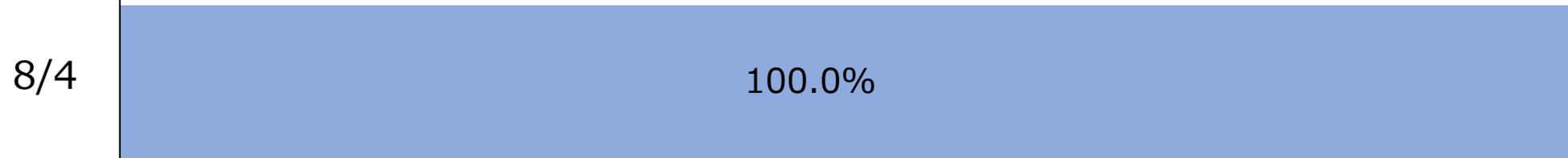
■ 1人重症化した(している)

■ 重症者はいない

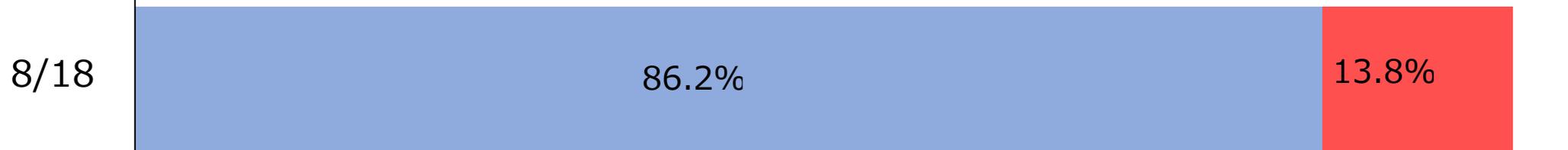
■ 2人以上重症化した(している)

都内老人保健施設で感染した入所者の死亡例

2022年6月－8月4日間の死亡例



2022年8月1日－8月18日間の死亡例（3例は転院後死亡）



0%

20%

40%

60%

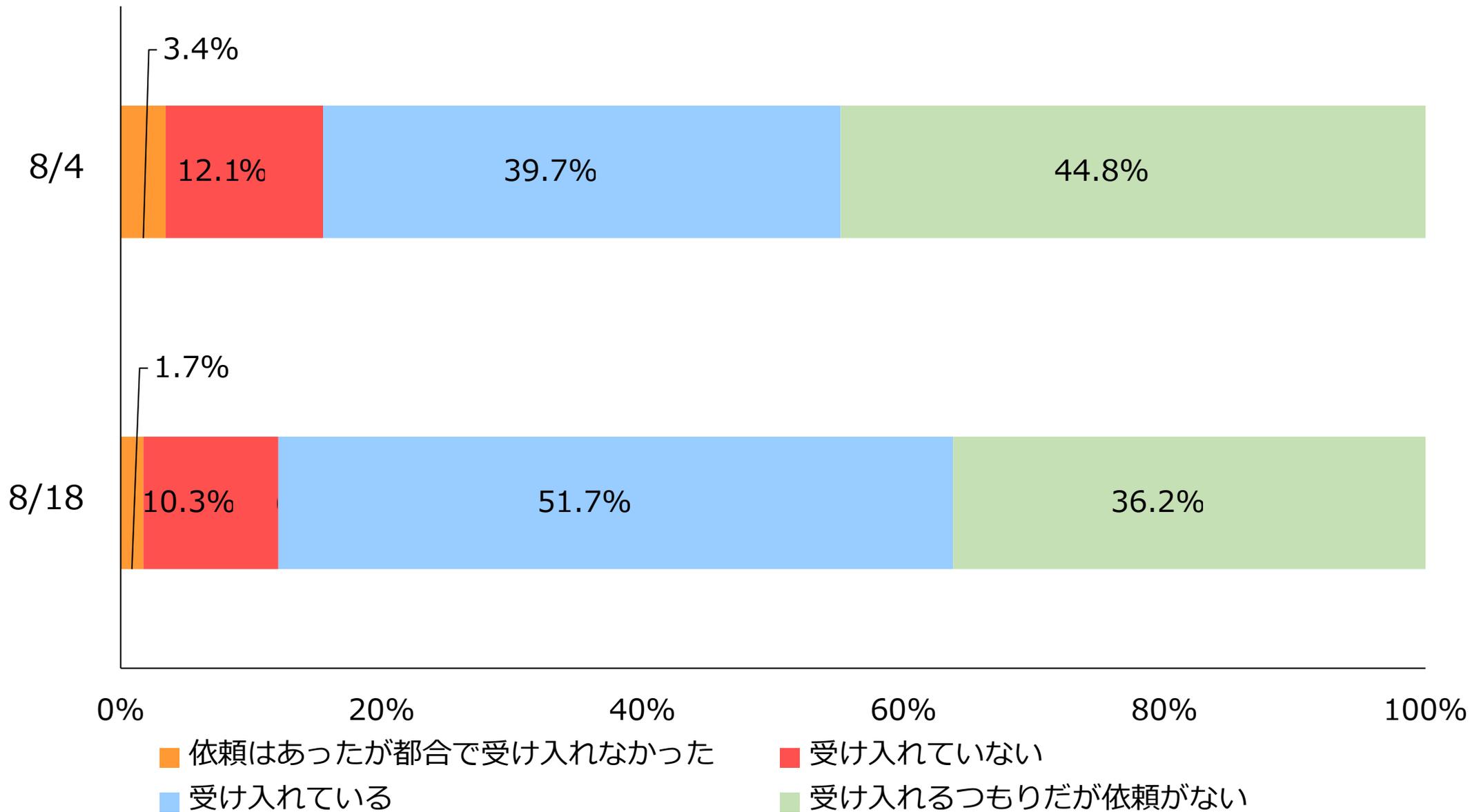
80%

100%

■ 亡くなった方はいない

■ 1人亡くなった

都内老人保健施設のポストコロナ高齢者受入れ状況



第7波の経験から

- 感染ルートとしては、職員が同居の家族を介して持ち込むことが多かった。
- 職員が感染者や濃厚接触者となったため出勤できなくなり、人手が足りなくなった。
- 職員へのワクチン接種がもう少し早く実施されていれば、感染状況は変わっていた可能性がある。
- 利用者の感染者数は増加したが概ね軽症であり、死亡者は稀であった。
死亡例についてはコロナ感染自体ではなく基礎疾患等の悪化で亡くなる例が増加した。
- 感染した入所者も、引き続き老人保健施設内で療養を継続された方が多かった。
- 感染拡大防止策、治療方法等これまでの経験が生かされた。
- 最近の傾向として定期PCR検査や臨時のPCR検査で「偽陽性」との判定が出ることが散見された。判定の誤りの影響はとても大きいため、検査制度を高める必要がある。
また本検査を過信すべきではない。
- 感染予防策としてのPCR検査を補うものとして、新型コロナウイルス中和抗体定量検査を導入することで①ワクチン接種効果の確認、次回の接種時期の判断 ②抗体価の低い「感染」「重症化」リスクの高い者の絞り込み ③感染ゾーンに職員を配置する際の目安として活用できるのではないかと。